

# 子供同士の話し合いによってより良い「学校」を実現するには？ —学校の日々の当たり前について、改めて考えてみたら—

文部科学省委託調査研究

こども

子供たちによる「対話」を政策形成過程に反映する方法に関する調査研究事業  
(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)

## 学校に行くのは当たり前？学校の意味ってなんだろう。

小学校・中学校に行く意味ってなんだろう。  
だれもとりのこさず、すべての子供の可能性を引き出す学校や授業って  
どうしたら作れるんだろう。

…今までは大人だけで考えることが多かったけれど、  
子供たちからも「より良い学校」のアイデアが見つかるかも。

小学生・中学生が通う学校についていろんな取組を考える文部科学省の大人は、こんな悩み  
(問題意識)を持っていました。

また、小学生・中学生からアイデアを聞く方法についても考えたいと思っていました。  
(アンケートではアイデアを思い付いた理由まで聞きにくいことから、子供同士の話し合いであればその理由まで分かるのではないかと考えました。)

そこで、2022年度に2つの学校で「理想の学校」「卒業後になっていたい自分たちの姿」  
などについて子供同士の話し合いを合計4回してもらう中で、子供たち同士がより良い「学  
校」を作るアイデアを出せるような、話し合いのやり方について考えました。

この会では、130名近い小中学生が、いつもの教室で、だけど、先生の指示も、決まった答  
えもないテーマについて、いつもはあまり話さないクラスメイトとも、一緒に話し合いをし  
てみました。

その結果、話し合いだからできることや、そのやり方について、次のことが分かりました。

### ① 話し合いだからできること

話し合いでは多くの大切な意見が得られました。そして、話し合いだからこそ、できそうなことが分かりました。

話し合いをすることで、元々もって  
いた意見が変わったり、新しい意見  
が持てたり、意見が深まったりしま  
した。



できるだけたくさんの人と  
話すことで、  
前向きな意見から、テーマ  
自体に持つモヤモヤまで、  
様々な意見が得られました。



学校の在り方を変えるための  
「問題を見つける」や「解決  
の新たなヒント」につながる  
ものだと分かりました。



### ② よい話し合いになるために、やってみたこと

今回の話し合いでは、なるべく多くの人に参加して、意見が言えるようにいくつかの工夫をしました。

- 話すテーマや方法について、先生とも子供とも相談をする(できるだけたくさん)
- 話し合いの前に自分の意見を書いて頭の中を整理しておく準備体操をする(事前のワーク)
- 話し合いの最初にゲームをする(アイスブレイク)
- 話し合いのときにみんなの意見を大事にできるような約束事を決めておく
- 話し合いの後に自分の意見や他の人の意見を振り返ったり、言えなかった意見を言えるチャンスをつくる(事後ワーク)
- 話し合った内容をプロがイラストにしたりして、次の話し合いの最初に振り返りをする



# もっと良い話し合いにするために大人と考えたいこと

今回、話し合いをよくするために前のページに書いたような工夫をしましたが、もっと良い話し合いにするポイントがありそうなことも分かりました。

“子供たちが主体となって、大人も巻き込んで自分たちの学校の在り方を変えられる”  
そんな未来になるためには、話し合いをもっとよくするための工夫を、子供と、大人が一緒に考える必要があると考えます。

## 対話の前に

- 話し合いのゴールが何か、みんながよく分かっている
- 話し合いには点数も評価もないことを知っている
- ここで話し合ったことは秘密
- 話し合いに参加するみんなにとって安心できるルールがある

## 対話のメンバー

- だれとなら、何人なら深くじっくり、または、新しい発見をしながら話し合えるか考える
- そのときに司会がいるのか、先生や大人はどう関わるかが決まっている

## 対話のテーマ

- 分かりやすいテーマ・例になっている
- 参加するみんなの持っている知識や経験、情報で話せる工夫がある
- そのテーマで話し合ったあと大人はルールを決める人に届けたり、受け止めたりできる

## 対話の後で

- その場で伝えきれなかった意見・変えたい意見を受け止めるチャンス・場がある
- もっと良い対話になる方法を考える

こんな話し合いの場にしては?という意見が参加した子供からも届きました ①

## 対話の前に

- みんなが和気あいあいした雰囲気をつくる。
- PCやデジタルホワイトボードを使って会議をする。

## 対話のメンバー

- 5~6人でやるよりも3~4人で。
- 班を一定の話し合いごとに変える。
- 先生たちがぐるぐる回って説明してくれるから分かりやすい。
- 班の中で班長(司会)を決めた方がスムーズに話し合いはできる。
- 自分がいっしょに考えたい人とグループになる。
- クラスの人だけじゃなくて先生とか他クラス・他学校と話し合いをしたらもっといい意見が出ると思う。

## 対話のテーマ

- 話題や例をもっと分かりやすく。
- これからじゃなく今をどうしたらいいかもっと話し合いたい。
- 生徒にも知識や考えには限界があるから、0からじゃなくて1から考えた方が現状は良くなる。

## こんな話し合いの場には?という意見が参加した子供からも届きました ②

### 対話のときは

- やさしくききやすいように、他の子でも分かる言葉づかいではなす。
- 人の意見を大事にして、否定から入らずにすると色々な意見が出て話しやすい。
- 思ったことに理由をつけるとより深まる。
- 周りにあわせようとするのではなく、自分が本当に思っていることを言う。
- 「〇〇さんどうですか？」などいろいろな人に疑問をふっかけてみる。
- 聞く人が「しずか」になる。
- みんなが分からないことを質問する時間があると、もっと深く話し合えるかも!
- 司会を決めて、司会の子は「なぜその子がそう思ったのか」などをきいたり、「そうだよね」「私もそれいいと思う」など、共感の言葉を使うのもいいと思う。で、その話に乗っかって、みんなが自分達の意見を話す。

## 「意見を伝え、変えていく」を当たり前前にできる未来に



- 今回は、話し合うテーマや、話し合う時に約束したいこと（責めないなど）も子供たちと事前に相談したうえで、いつもの教室で、なるべく全員参加で話し合いをしました。
- すると、全員が、教室で、いつだって、意見を言うことには慣れていないかも、ということも分かりました。
- 「誰と話すか」「誰が聞いているか」「聞いた人がどんな様子か」「みんなと同じ意見か」などによって、思っていることを言えるときと、そうでないときがあるようです。
- また、「自分が意見を言わなくても勝手に進んでいく」という経験から、意見を伝えることに意味を感じている人が多いとは言えなさそうでした。
- そして子供から意見を聴いたからには、きちんと大人もチャレンジしてほしい、という意見もありました。
- 大人もいま、話し合いだけでなく、アンケートやインタビューなどいろいろな方法で子供の意見を聞き、またどう聞くとより良い社会になるのかを考えています。
- 子供が意見を伝え、変えていくことを当たり前前にできる未来にするために、これからも子供たちと一緒に取り組んでいきたいです。

# じっさい 実際の話し合いであった意見—学校のそもそもの問題編—

## そもそも、学校では何が問題なのか？



じっさい 実際に、小学校・中学校で、今通っている学校について行った話し合いでは、学校ですることや学校の雰囲気について感じるモヤモヤ・問題意識がたくさん共有されました。

### ■ 子供から得られた論点・視点

#### 【校内の雰囲気・人間関係】

- 意見を言いにくい人がいたり、一部の人だけで盛り上がりすぎるときもある（いじめ、仲間外れ等もある）。
- 不登校の人がいる。
- 先生が生徒によって対応を変えることがある。

#### 【学びたいこと・学び方】

- 授業時間が長い・授業が延長される。
- 面白くない授業、もう分かっていることでも授業に出る必要がある。
- 人によって学びたいこと・学ぶスピードは違う。

#### 【学校生活】

- 休み時間が自由でない（ゲームが出来ない）、自習室も使えない。
- 給食が美味しくない時もある、小さな楽しみがない。
- 自分のしたい部活がない、部活の時間が短い。

#### 【学校行事】

- 運動が苦手な人は楽しめない行事もある。
- グループ決めでもめることがある。
- 私たちの学校では宿泊学習では先生にスケジュールが決められており、自由でない。

#### 【委員会活動】

- 活動回数が月1回でやりたいことができない。活動時間も35分と短い。
- やりたい人と、そうでない人の温度差がある。
- 義務的で、やりたいことができない（やりたいことをやるには先生の許可が必要）。
- 他学年と協力できない（できる委員会もある）。友だちではない人と話すのは少し気が引ける。

#### 【校則・ルール】

- 個性が尊重されなかったり、コンプレックスを解消できない校則（例えば制服など、見た目にかかわること）があったりしてしんどい。

## 対話の中で意見が広がる場面もありました



#### 【学校生活の理想を考えるシーンで】

（「給食を美味しく」という付箋を見ながら）  
「給食だったら、1日でもいいので“みんなの好きな給食の献立”をつくるのもいいかも」

→「そうしたら“みんな”だから個人じゃなくて社会にとっていいことになるかも」

→「たしかにみんなが納得するものだといいな」

#### 【宿泊学習での管理を考えるシーンで】

「自由になればなるほど管理が難しいよな」

→「管理って何？」

→「例えば、持ち物も多くなればなるほど忘れ物するとか、スマホも持って行きたいけど結局遊ぶじゃん？学校のタブレットだってそうだよね」

#### 【宿泊学習の困りごとを考えるシーンで】

「バスでお菓子食べるにしても、自由にどこでも行ける、にしても、例えばお菓子こぼれちゃうとか自分で選ばないといけない、とかが困りごとになるよね…」

→「他の人に迷惑になる、とか忘れ物をしてしまったりするも困りごとかな」

## 学校を「こう変えたら？」というアイディアも

また、問題を発見するだけではなく、解決するにはどうしたら良いのかのアイディアが多く出されました。いま通っている学校で変えられそうなものもあれば、全国の学校でも変えていけそうなヒントとなる意見もありました。

### ■ 子供から得られた論点・視点

#### 【校内の雰囲気・人間関係】

- 不登校の人が来やすく入りやすいクラスにしたい（かざり付けがしてあったら入りやすい）。
- 学校のレクリエーションや行事など、たくさんの人と関われる機会や話し合う時間がほしい（他の学年の人とも関わりたい）。
- 好きなことを話し合える機会を作る、生徒同士のいいところを言い合う場があるとよい。
- 先生と生徒の距離が遠くない授業だといいい。先生が生徒と向き合うようにしてほしい。

#### 【学びたいこと・学び方】

- 授業時間を短く・授業の内容を濃厚にしてほしい。
- 苦手な教科を重点的に学べたり、復習の時間が欲しい。
- テストが出来ていたら、別のことを勉強してOKにしてほしい。
- 将来を見すえ、英語や多言語学習をもっと増やしてほしい。
- 体育や副教科を選択式にしてほしい。

#### 【学校生活】

- 休けい中はおかしOK、スマホOKにしてほしい。
- 給食を美味しく、クラスでオリジナル献立を作る日を作ってほしい。
- 昼寝時間を作れば集中力がアップできると思う。

#### 【学校行事】

- 行事を選択式にしてほしい（自分の得意なことを活かせる行事がいい）。
- 行事やイベントを増やしてクラス全員で協力して楽しもうとする。
- 行事のグループ分けの際に人気者が2つのグループをまとめたり、中立的な立場の人をつくる。
- 宿泊学習について、自分たちでスケジュールや行先を計画する（そのために生徒と先生との信頼関係を作りたい）。

#### 【委員会活動】

- 活動時間を確保できるよう、授業時間を早めたり、特別日課にする。
- 他学年とも協力できるよう、先生が高学年だけに任せるのをやめて、誰が担うかは子供同士で決める。

#### 【校則・ルール】

- 「ルールを守れていたらルールそのものを少なくしていく」という校則を作る。
- あいまいなルールをはっきりさせる。

# じっさい 実際の話し合いであった意見—小学校編—

## 1回目の話し合い : 「学校をよくしよう会議」 理想の行事/委員会活動って?

- 「学校をよくしよう会議」と名付けた話し合いの場では、
- 1回目は小学5年生では委員会活動について、小学6年生では宿泊学習や学園祭について、いま何に困っているか・何が問題かを話し合ってから、その問題を解決するためのアイデアを出し合いました。
  - 2回目は、理想の委員会活動、理想の宿泊学習がどんなものなのかを話し合ってから、それを実現するための「結局これが解決すればいいのでは?」という根っこにある問題について話し合いました。



話し合いの様子を絵に書きました。(グラフィックレコーディングと言います。)

**第1回 11月16日 学校をよくしよう会議**

このグループは **保健委員会**

本 リごと

黒板のマス目 書きにくい

消毒ほじゅう ボトル重い

活動中のベンチが 重くて大変

3時間の話し合いの時間が足りず 授業に遅れる

6年生が やつから 出番が少ない

**第1回 2022.11.16 学校をよくしよう会議**

<b>代表</b> 意見 みんなが決める ↓ アンケート をする	<b>放送</b> YP 給食 食べれない ↓ 専用の 給食ほしい	<b>放送</b> 声が小さい □ハキハキ □大きく	<b>保健</b> L 時間が少ない ↓ 省く 手伝う
<b>図書</b> 返却忘れ ↓ 場所分ける	<b>図書</b> リスト 目的の本 みっからない ↓ リスト作る	<b>図書</b> 期限 伝える 本をキレイに 保管する 場所をつくる	<b>図書</b> 立ち読み、 ちゃんと 戻すように 伝える!!
<b>よりよく するための アイデア</b>			

**学校よくしよう会議 学園祭** グループの話し合い

**学園祭での困りごと**

コロナで学園祭の規模が 小さくなった...

食べ物NG  
地区ごとの参加

マスクを外したい

**もっとよくするには**

人を集める (高学年も手伝う)

地域のマンションや幼稚園にも声をかける

地域の人も来てほしい

予約制にする

**学校よくしよう会議 宿泊学習** のグループの話し合い

**宿泊学習で困ったこと**

温泉の場所 入る時間 わからない

宿の部屋 持ちがえ

食事場所も わからない

目的地や 宿を自分たちで 決めたい

ベッドの大きさ 布団の量...

**自分たちで もっとよくしたいこと**

あらかじめ 場所や 時間は 聞いておく

目的地や宿は 自分たちで手配する

部屋選択も自分たちでできる



# じっさい 実際の話し合いであった意見—中学校編—

## 1 回目の話し合い : 「学校のこれからを話す全校会議」 学校に来る意味や、理想の学校って？

- 「学校のこれからを話す全校会議」と名付けた話し合いの場では、
- 1回目は、「オンラインでも会えるのに学校に来て会う意味って何？」や「自分や周りは学校の一員になれていると思う？」といった質問に思うことを話し合ってから、「みんなが行きたいと思える学校ってどんなものだろう？」という理想の学校の姿について話し合いをしました。学校の校則やルールに関することもあれば、授業や学び方、行事、学校の雰囲気についても意見がたくさん出ました。
  - 2回目は、卒業したときになっていたい自分たちの姿を話し合ってから、そんな自分たちの姿を叶えるために、行事、授業、学校の雰囲気、校則、学校生活がどうなると良いのかについて、話し合いました。



**第1回 12月19日 学校のこれからを話す全校会議**

1 オンラインでも会えるのに「学校」に来て会う意味って何だろう？

▷▷ 学校に来る意味

- 友達・先生に会える
- 面と向かって話し合いができる
- 質問しやすい
- 表情がわかる
- 仲が深まる
- コミュニケーション能力が高まる
- 孤独感がない
- メリハリがつけやすい
- サボらない
- 行事・体育部活ができる

▷▷ オンライン良いところ

- 緊張せずに話せる
- キリキリまじ寝れる
- いじめが起きにくい
- 寒い外に出なくていい
- 取っ替え履きできる
- 仲間不良でもコミュニケーション取れる

**第1回 12月19日 学校のこれからを話す全校会議**

2 みんなが行きたいと思える「理想の学校」ってどんなもの？

給食 友達 映画 楽しいをつくる 楽しいのひとと会話はずむ

〈みんなの学校〉

- 一人ひとりが活躍できる
- 意見が出る/反映される
- モチベーション上がる
- 楽しい感じ
- 不登校・いじめない

自由 過ごしやすい学校

- チャリ通学/来た時に自転車
- おやつもOK/学食
- 給食おいしい
- トイレ自由
- 食べたいときに食べる

〈授業・行事が楽しい〉

- 授業態度 回数多い
- 選択授業 行事
- 休みの時間長

〈校則ゆるい学校〉

- スマホ・ピアスOK
- 服装自由
- 将来に役立つことまで学べる

〈施設がきれい・使いやすい〉

- エレベーター
- 運動場芝生
- 机を大きく
- トイレきれい
- エアコン

Q オンラインでも会えるのに 学校に来て、会う意味って何だろう？

コミュニケーション能力を高めるため

- ふれあいがある
- 自分も相手も成長できる
- 将来のため
- 健康に!
- 働いたときに休まず職場に行くと思うため
- 引きこもり解消
- 相手を知らるため
- 友達をたくさん作るため
- 思い出をつくるため!!

オンラインは集中できない

2022.12.19

Q ええなあと思える理想の学校って みんなが行きたいと思える学校 どんなもの？

仲良し 楽しい 先生と生徒が向き合う

フレンドリー 困っている人がいたら助け合える

授業が楽しい学校

- 授業態度を褒められる
- 大休憩がある
- 多言語を学ぶ
- テストをしない
- 行事が多い

外見がよく生徒が安心して通える学校

- 暖房がある
- 設備が整っている
- 校舎がきれい
- 人工芝
- グラウンド
- 食堂
- トイレ
- 校舎

生徒の個性を尊重する学校

- せんぶの機
- X170K
- チャリ通学できる
- ペット飼育
- 私服
- スマホ
- お宝

# じっさい 実際の話し合いであった意見—中学校編—

## 2回目の話し合い

## 卒業した時になってほしい自分たちの姿と、それを叶える学校

### ワーク 1. 卒業後に目指したい自分たちの姿を考えてみよう



### 第2回 1月19日 学校のこれからを話す全校会議

#### 1 卒業後に目指したい自分たちの姿

- 思いやり・尊重**
  - 人の気持ちを考える
  - 感謝を忘れない
  - 個性・多様性
  - 周り・社会のために
- 未来志向**
  - 未来を創る
  - 21世紀に教える
  - 物事の先を考える
  - 夢や目標がある
- 常識がある**
  - 当たり前のことを  
当たり前にごさる
- 自信・行動力**
  - 自分たちで考え行動
  - 持っている力を発揮できる
  - 何事も全力で取り組む
- 安心・自信**
  - 意見を言える
  - 自分を表現できる
  - 楽しいと堂々と言える
- 楽しい**
  - 楽しむことを全か
  - みんなが楽しい

### ワーク 2.3 卒業後に目指したい私たちになるためには どんな学校だといいたろう



#### 2 学校はどんな風になるといいだろう？ 行事について



### ワーク 2.3 卒業後に目指したい私たちになるためには どんな学校だといいたろう



#### 3 ウェルビーイングのレベルを上げよう ▷▷ 他校も巻き込むと広がる

